

# 事故が教えてくれた事

(関東) (有)S運輸 N. A

— 今生の別れだと思って送り出してください —

運行管理者一般講習を受講した時に、講師がおっしゃっていた言葉です。この言葉を聞いて、ある事故のことを思い出しました。

今から9年前の、冬の朝の出来事でした。6時50分頃、会社に出勤すると、近くの交差点の方から「ドン！ガシャーン！！」と大きな衝突音が聞こえました。運行前点検をしていた社員達が手を止めて一斉にその音の方へ走って行きました。「救急車！救急車！」と叫んでいます。ただならぬ空気に、走って行ってみると、そこには昨日まで一緒に笑って話していた社員が、グシャリと曲がった乗用車の中で頭から血を流してぐったりしていました。

先に駆けつけていた社員達が「おい！大丈夫かー！今助けてやるからなー！！」と叫びながら、曲がったドアを必死で開けようとしていました。泣き叫んでいる社員もいました。私は言葉を失い呆然と立ち尽くしてしまいました。専務からの指示で我に返り、震える手で関係先に連絡したような気がしますが、どこに連絡をしたのか覚えていません。救急車も、呼んでから5分くらいで到着したとのことでしたが、恐ろしいほど長く感じました。思い出ただけで、未だに涙が出ます。

前日、「今日はありがとうね。明日も大変な作業があるけど、頑張ろうね！」と同僚に笑顔で声を掛け、一緒に帰って行くのを見ていたので、気がつくとその時の笑顔を何度も思い出していました。

「どうせやるなら楽しくやろう！」が、彼の口ぐせで、新人さんや、ベテラン社員、協力会社さんにも気持ちよく仕事してもらおうと、いつも明るく冗談を言っていて和ませてくれたりして、雰囲気や大事にしていました。私もその冗談で救われた一人であることは間違いありません。

勤務途中で、大切な仲間が事故に遭わないようにするには、どうすればよかったのか…。“こうすれば良かったかも、ああすれば良かったかも”という後悔と、“しかし事故は起こってしまった、そして今の自分にはどうすることも出来ない”という現実が、繰り返し押し寄せ、苦しかったのを覚えています。

この辛い記憶を思い出しながら、私は日々の点呼業務を振り返ってみました。一度出庫したら、乗務員が無事に帰って来ることを祈るしかありませんが、事故に遭ったら最悪の場合、「今生の別れ」になってしまう可能性は残念ながらゼロではありません。『今生の別れだと思って送り出してください』という講師の言葉は、「今生の別れになるかもしれないので心残りのないように接しましょう」という意味では決してなく、“危険な旅に出る家族を送り出すような気持ちで”点呼を心掛け、事故を無くしましょう、という意味だと思うのです。

そういう意味では、今、弊社が心掛けている点呼は、ひとりひとり、顔を見て、会話をして、その日の体調や心の状態に気を配るようにすることです。わずかな変化に気づくことが事故の予防につながる可能性があるからです。

そして、健康診断は年2回実施し、持病がある乗務員の場合はその持病についての確認をしたり、薬の服用を確認したり、血圧を測って記録したりします。その他、安全な運行を管理する上で共有すべき情報がある場合は「申し送りノート」を活用し、次の点呼者に情報を引き継ぐようにしています。

ベテラン乗務員に関しては、健康起因事故の予防として福利厚生観点から、「脳MRI検診」「頸動脈エコー検査」「心エコー検査」「軽度認知障害スクリーニングテスト」を今年度より導入しました。

優れた技術、技能を有したベテラン乗務員に、今後も安心して勤務してもらいたいという思いで、社長が導入を決めました。乗務員に何か異変があればすぐに気づき、対処できるような体制づくり、そして、悩みや不安を抱えているような場合には、少しでも安心して運転に集中出来るよう、バックアップ出来る環境整備を進めていきたいと考えています。

そして、これは余談になってしまうかもしれませんが、点呼の後の送り出しの言葉で、何気なく使っている「いってらっしゃい」は、「行って」+「いらっしゃい」が一つになった言葉で、帰って来ることを前提とした大和言葉だそうです。

そこには「必ず無事に帰ってきてくださいね」という言葉(ことだま)がすでに宿っているそうです。鉄道関係や工場などで「ご安全に」という言葉が使われているように、私達の業界にも安全を願う言葉があれば、と考えて色々な言葉を探しているうちに、「いってらっしゃい」の意外な深さにたどり着きました。今日も無事に帰って来ますようにと心から願い、悲しい事故が起きないように「いってらっしゃい」が出来よう、私自身、取り組んでいきたいと思っています。

あの9年前の、大事故に遭った社員は現在、事故のない安全な運行のため、乗務員を明るく励まし、温かい言葉で送り出しをする素晴らしい点呼者として今日も全力で業務にあたっています。